

【みんなの感想】

僕の大冒険

1班 T/M (小4)

日本海の水を汲みに金石港へ行きました。まだ来ていない人の分もがんばって汲みました。砂浜がすごく汚かったです。金沢駅で集合して和菓子作り体験教室で和菓子を3つ作りました。一番上手にできたのは、もじゃもじゃです。どれも美味しかったです。お風呂に入り夕食を食べて自由の森で野宿をしました。次の日、6時半に起きてコーンスープとパンを食べました。コーンスープが美味しかったです。この日は雨で大変でした。10km歩きました。ささら作りをしました。夜は野外炊飯でもんじゃとBBQを作って食べました。そしてマシュマロをやいて食べました。お風呂にはいり五箇山青少年旅行村合掌の里で1泊しました。翌日、白川郷に到着して、ひで細工にチャレンジしました。買い物をし、昼食を食べバスに乗り郡上八幡まで行きました。川の水がとてもきれいでした。お風呂に入り夕食を食べて寝ました。この日は7km歩きました。食品サンプルを作りました。名古屋へ行きました。お風呂に入りねました。この日は10km歩きました。名古屋城を見学し日本海の水を太平洋に流しました。

1班 I/H (小5)

初めて東京駅八重洲中央口に集合して夜行バスに乗りました。思ったよりもせまくて、椅子もそんなに大きくなかったです。寝ようと思ったけどバスがガタゴトガタゴトゆれて、なかなか寝れませんでした。ほとんどサービスエリアにおりたと思います。朝になって金沢に着きました。思ったより駅が大きかったです。あと、近代的な感じもしました。そして西日本方面から参加した人(?)と合流をして金沢城へ行きました。金沢は静岡のほぼ上にあるのに、なかなか行けなかったのがうれしかったです。夜は野宿ができず、なんかざんえんでした。でも朝、外はびしょぬれだったので、良かったです。10kmぐらい歩いていたのがすごく大変でした。でも周りは田んぼか家くらいしかなく、歩くしかなかったです。野外炊飯は、朝霧でやったことがあったけど、上手にできませんでした。次の日は7kmでまだまじでした。でも白川郷は人ばかりで昼ごはんをのんびり食べるよゆうはなかったです。金曜日は、食品サンプルを作ったり、電車に乗って愛知へ行ったりとなかなかきつくて大変でした。後、とても暑かったので、その分つかれました。でも、犬山城が見えたりして、良い事もありました。名古屋市まで歩くのがすごく大変でした。でも、ちゃんと名古屋城にはたどり着きました。いろんな意味でうれしかったです。

夜、夕食にみそこみうどんを食べました。思ったよりみそがかかったです。なんか愛知は味がこいかお父さんが言ってました。東横イン名古屋丸の内にとまりました。どこがくつをぬぐ場所、電気は…。いろいろ分かりにくかったです。次の日、名古屋城を見学してから名鉄に乗って名古屋港にいきました。あの冷たい日本海の水は、サーッと終わってしまい、とても少なかったと思います。最後に、名古屋駅に帰って解散しました。せっかくできた友達ともお別れで、とてもさびしかったです。ほぼもう会えないので、なんかそこだけいやでした。帰り、新幹線に乗って三島まで行きました。ちょっとさびしかったけど、お父さんを見ると少しだけ安心しました。他県に行く事は楽しかったです。今度はお兄ちゃんも行ったヨロシ島や北海道にも行きたいです。あと、飛行機にもなつてみたいです。

野宿の旅

1班 M/Y (小5)

僕は、最初、静岡から東京へ行く新幹線で一人で心細くなり泣いてしまいました。僕は、自分で行きたいという感じではありませんでした。そして東京駅に着くとホームでリーダーさんが待っていてくれました。その時、熱海で乗ってきた子に話しかけられ「よろしくね。」と言ってくれました。そしてリーダーさんが優しくみんなの所へ案内してくれました。僕は、この旅で初めての事がいっぱいありました。たとえば夜行バスやささら作り、サンプル作りなどいろいろです。夜行バスでは、あまりねむれず大変でした。ですがふとんで寝た時はとても気持ちよかったです。そして寝袋も寝るとあたたかくて起きませんでした。ささら作りでは、一枚一枚まちがえないようにしんちょうにやりました。できた時

あのうれしい気持ちは忘れられません。その後みんなで「こきりこぶし」をおどったりしました。ささらは思い出の品になるので作れてよかったです。そしてサンプル作りでは、本物に近い物が作れて、とてもうれしかったです。そして僕が一番思い出にのこったのは、まわりの人が助けてくれたことです。たとえば、歩いている時に「がんばってね」と声をかけられたり、「1日に10kmもすごいね」と言われたり、とてもうれしかったです。そしてお店では「がんばれ」と言われ、おかわりはし放題にしてくれたり、お客さんがきて店の人が「いっぱいいで…」と言ったら「わかりました」と言って違うお店に行ってくれる人など、また無料でコーラを飲ませてくれたりなど、やさしい人がたくさんいました。仲間や周りに住んでいる人たちが、みんな支えてくれて野宿の旅ができていたと思います。仲間もできたし、とても楽しかったので、また参加したいです。

野宿の旅を終えて

1班 O/R (小5)

今回の野宿の旅では初めての経験がたくさんありました。まずは夜行バス。ずっとガタガタしていてもうっすらとしかねむれませんでした。次に日本海。僕は日本海に行ったことがありませんでした。そして金沢城、とても美しかったです。金沢城の近くで行った和菓子作り。と、ここまでは楽でしたが福光から城端までが地獄でした。たった5kmが、なれていない初日の自分にとっては長い道のりでした。城端ついた時は感動しました。しかし夕食は食堂で食べるためにまた歩きました。たくさん歩いたから夕食はとてもおいしかったです。夜は、野宿、小雨で屋根のある場所でねましたが、けっこう寒かったです。二日目は、相倉や菅沼などの合掌造りを見ました。城端から菅沼までは10kmありましたが、なれたのでらくでした。そしてささら作りとおどり体験も楽しかったです。夜は、野外炊飯。みんなで作った料理はかくべつでした。そして合掌造りの家でねました。三日目は10km歩き白川郷へ。ひで細工はむずかしかったけど良い作品になりました。昼に食べた飛騨牛コロケはすごく美味しかったです。この日はバンガローでもねましたが野宿をしました。なぜなら寝袋でねる機会は少ないので、せっかく野宿ができるんだからしようと思ったからです。四日目は、電車、歩き10kmの条件でサンプル作りが終わったあと、名古屋城へ向かいました。歩く途中に見えた犬山城が元気をくれたのか、無事ゴールしました。五日目は名古屋城をまんきつし、日本海の水を太平洋に流しました。この5日間はすごく楽しかったので終わった今でもふと楽しかったなと思いたす時もあります。それほど今回の旅は本当に楽しかったです。

日本海から太平洋へ横断旅行

1班 T/S (小5)

私は、日本海から太平洋への横断旅行に参加しました。最初は、香川県から、京都府まで行って、京都駅から、金沢駅まで行きました。金沢からは1日10km歩くのでつかれました。特に一日目は初めてなのでつかれました。その次の日や毎日が楽しかったです。ささらをつくって、こきりこのおどりを教わりました。和菓子作りも3つの種類を作って、桜のような和菓子ができ、その和菓子をバスの中でジャックにあげました。ジャックは自分のと比べて、自分のは「ヒトデだよ」とか言っていたので面白かったです。温泉にも行ったし、がっしょうのいえでも寝ました。ごはんは、バーベキューと、野菜炒めと、マシュマロやきと、やきバナナと、モンジャやきを作りました。かまどの火がつかなくて、ジャックに手伝ってもらって、やっとつきました。それで、ごはんを食べたあと、お風呂に入ってからがっしょうのいえで寝ました。カメムシとりの名人のイデちゃんにカメムシをとってくれたので、安心して寝れました。名古屋城や、犬山城にも行きました。犬山城の近くの、食品サンプルをつくりにいきました。エビフライとシソとピーマンを作りました。そのあと、おみやげをかいました。そのあと、ジャガーにアイスの割引券をもらって、アイスをかいました。ヨモギアイスをかいました。美味しかったです。そのあと、ごへいもちをたべました。美味しかったです。こいちゃんとの別れは、かなしかったけど、いろいろあって楽しかったです。最後にツカシ、ジャガー、友達とわかるけど泣きませんでした。ジャガーやリーダーや友達がいたからです。そのあと泣きました。かなしかったけど、また今度ジャックとあえるといいなと思いました。

野宿の旅に参加して

1班 K/S (小5)

この旅で一番大変だったことは、歩いたことです。私は地図係になって地図を見て道をたしかめながら歩きました。でもみんなとしゃべったりしていると、あっという間に目的地につきました。目的地につくまでにもいろいろなことがありました。トンネルの横の道を通ったり、人があまりいないような田んぼ道を通ったりもしました。ふだんできないようなことも体験しました。ささら作り、白川郷、コースター作り、サンプル作りなど、たくさんのことをしました。ささら作りでは力いっぱい引っ張らないと、すぐに板が落ちてしまうのでたいへんでした。コースター作りは、こうごに並べないと、ひでが、バラバラになってしまうのでたいへんでした。係で一番たいへんだったのは、地図係です。ほかの係もたいへんだったけど、やっぱり地図係が一番です。地図係はルートを決めたりもしないといけないうし、歩くときに先頭に立って歩かないといけないうからたいへんでした。友達といると楽しいけど、ちょっとした事件もありました。おもしろかったです。こういう旅に行っていると、一人ぐらしするようになった時、役に立ちそうです。野外炊飯の時、けむりで目がひりひりして少しいへんでした。この度はたいへんなこともたくさんあったけど、楽しかったこともまけないくらいありました。またこの度を通して友達もたくさんできました。参加して良かったです。

楽しかった日本縦断

1班 K/Y (中1)

今回のキャンプに参加して「良かった」と思うものもあれば「もうちょっと」と思う事色々ありました。良かった所は、日本縦断が何事もなく無事こなせた事です。自分としては長距離を歩くのは、いつも通学で2.4km歩いていたので、そこまで問題ないだようと思っていました。実際も疲れはしたけど歩けなくなるほどではなかったんで歩きながら景色も楽しめてとても良かったです。郡上八幡で作った食品サンプルも不思議な所があって良かったです。最初は、ただの溶けたロウが高さ30cmぐらいの高さから、ぬるま湯の中に少しずつ注ぐだけで、天ぷらの衣のようなプツプツ感のあるものに変わったり、今度はぬるま湯の表面にうすく円形になるように、ロウをのばして、いっきに水の中に入れて左右ゆらしながら手前に運び、引き上げるとレタスのような葉っぱ模様に変わるなど変形自在でとても不思議でした。逆に「もうちょっと」という所もありました。相倉で作ったささらとよばれるものや、白川郷で作った竹の葉細工は、簡単そうに見えたが、実際にやってみると意外と難しく、ささらの方は、びみょうに形が悪くなってしまって、もうちょっと力かげんを考えればよかったと思いました。他にも、思い出深いものがありました。相倉の合掌造りの家で泊まった事です。なかなか合掌造りの家に泊まる事はできないので貴重な体験でした。驚いた事にトイレも合掌造りで、以前に立ち寄ったバス停も合掌造りで出来ていて大きさ、形がさまざまな事をしました。最後に今回のような日本縦断ができたのは、ジャックやこいちゃん、ツカジ、高田さん、さらにはKSKKがあったからできたのだと思います。とても楽しかったです。ありがとうございました。また今回のような体験ができるなら参加したいです。

感想

2班 O/K (小5)

僕は初めて野宿の旅に参加しました。最初は、どんなかな?大変かな?と思い、どうしようとなってしまいました。でも行ってみると良い、これなら仲良くやっていけると思いました。僕はジャックに勇気をもらいました。ジャックが先に話しかけてくれたからです。最初は、夜行バスにのりリラックスして金沢まで行きました。夜行バスには、ゲーム、テレビもついていてすごく豪華でした。金沢について日本海まで行き、水をくんできました。すごく面白かったです。ここからはランキングで、楽しかった事、つらかった事、面白かった事まぜまぜ15位から。15位は日本海で水を汲んだ事です。14位は野外炊飯、13位は白川郷、12位は歩き、11位はカナトと遊んだ事、10位はみんなで遊んだ事、9位は朝ごはん(自然園のとき)8位は名古屋城に行った事、7位は夜ごはん(焼肉定食の時)、6位はこいちゃん弁当すごく美味しかったよ、5位野宿、4位坂道、3位ツカジと遊んだ事、2位ジャックと沢山遊んだ事です。すごく楽しかったのでまた行きたいです。1位は、名古屋城でカナトが転んで泣きそうな顔をしていて「大丈夫?」と言ったら、「ハッピー」と言ったところが一番心に残りました。

日本海から太平洋へ

2班 O/M (小5)

この旅で一番楽しかったところは、夜行バスです。初めてだったので、すごく酔って眠れなかったけど、ゲームが座席についていたので、みんなでずーっとあそんでいました。午前4時半までブタのゲームをしていました。またやりたいです。金沢についたら朝ごはんを買いに行きました。前に食べたひやくまんパンを、もう一度買いました。やっぱりおいしかったです。たいへんだったのは、日本海の水をくむことです。水は冷たいし、クラゲはういているし、浜はゴミを捨てるなって書いているのにゴミだらけでした。それで写真をとる時のかけ声が「はい、チーズ!」ではなくて「日本海はキタナイ」になりました。おもしろかったです。私が一番気に入った場所は、郡上八幡の遊童館です。そこではいろいろな手ぬぐいやかわいい雑貨もあったし、天ぷらのサンプル作りもとても楽しかったからです。夜は寝袋で寝ました。せまい所に20人で寝たのでぎゅうぎゅうで、せまかったです。でも疲れていたもので、すぐに寝てしまいました。朝起きると寒かったので、みんなでおしくらまんじゅうをしました。全国から子どもが集まっているので、かけ声が少しずつちがって、びっくりしました。金沢から名古屋まで歩きましたが、私が一番気に入った景色は、五箇山です。少し雨がふっていたので、山に霧がかかっている、雲の上に山があるように見えて、とても幻想的でした。その景色を家族に見せたかったので絵はがきを買いました。最後にこの度で毎日5km~10km歩いたので、1km歩いたらどれくらいなのか? 10kmだとどれくらいの距離かが、よくわかって良かったです。地震の時にも役に立つかもしれないと思いました。

2班 I/H (小5)

私は、5日間このたびで、心に残った事がたくさんあります。1つ目は、一日目の今回の旅で初めて歩いた事です。東京班などと合流しました。歩く時にリーダーと友達で話した事が楽しかったです。和菓子作りは作るのが少しむずかしかったので、少し変になってしまいましたが、自分で作った和菓子はとてもおいしかったです。また、挑戦してみたいと思いました。2つ目は、10kmを歩き、ささら作りにもチャレンジした二日目です。足と手で引っ張りながら作るの、足がいたくなりました。おどりも練習しました。最初はおどりながら、ささらを鳴らすのがむずかしかったけれど、練習していくうちに、だんだんできるようになり楽しくなってきました。その日は、野外炊飯もしました。班のみんなと焼きそばを作りました。まぜる時にけむりで目がいたくなりましたが、とても楽しかったです。3つ目は、三日目の白川郷のきれいな風景を見た事と、ひで細工を作った事です。つり橋をわたる時は少しゆれて楽しかったです。白川郷の風景はとてもきれいでした。ひで細工は横の木と縦の木をきれいにならべて作るのがむずかしかったけれど、達成感がありました。とても楽しかったです。4つ目は、四日目の郡上八幡でサンプル作りをしたり、サンプルを見たりさわったりした事です。サンプルの天ぷらを作るのは、いかいと、ころもの形を作るのがむずかしかったです。けれど作るのはおもしろかったです。5つ目、5日目の金のしゃちほこを見た事です。太陽でかがやいていてとてもきれいでした。とても大きくてびっくりしました。この5日間の旅は、とてもたくさんの体験をして、とても楽しかったです。歩いてつらかったこともあったけど、とても楽しかったです。またこのような旅に参加してみたいです。

ゴールデンウィークの旅

2班 S/Y子 (小5)

野宿の旅は、ゴールデンウィークを楽しくしてくれました。一日目は、城端まで合計7km歩きました。和菓子作りに初挑戦しました。すごく美味しかったです!二日目は、五箇山でささら作りに挑戦しました。足が痛くて、ちゃんとできるか心配だったけれど、ちゃんとできました。その後は、こきりこ節を習いました。野外炊飯もしました。目が痛かったけれど、すごくデリシャスなものができましたね。良い経験したなあと思いました。三日目は、白川郷でひで細工を体験し、今日まで合計27kmを歩いています。そんなに歩いていない。四日目は、郡上八幡で、食品サンプルを体験しました。私は、エビフライとカボチャフライ、そしてサツマイモフライを作りました。キャベツも作りましたね。お母さんに一回、仕掛けたけれど、引っ掛かりませんでした。(泣) 今日まで合計37km歩

きましたね。(まだまだ!!) 五日目は、金のシャチホコを見て、名古屋城を見学しました。そして太平洋で日本海の海水を流すという最大のミッションを達成!! あの瓶は思い出の瓶です!! 何よりうれしかったのは、…!? 途中で帰る人がいなかったことです! 五日間で合計約40kmをみんなで達成できましたね! 本当にありがとうございました。そしてお疲れ様でした!!

【保護者の方の感想】

今回のプログラムの案内を頂いた時、息子はすぐに「これ行く! 絶対に行きたい!」とっていました。日本縦断、野宿、合掌造り、和菓子作りといった言葉に、とても魅力を感じたようでした。行く前には親子で地図帳を開いて、どの辺りを歩くのかなあとか、この距離は絶対バスか電車に乗るよね? など旅への想像を膨らませて楽しんでいました。雨の中、歩くのは大変だったようですが、距離についてはさほど苦にならなかったようです。最終日は疲れているだろうから駅まで車で迎えに行くから電話するよにとっていたのですが、長距離を歩くのに慣れたのでしょうか、結局、歩いて帰ってきました。また少し遅くなったようです。サンプル作りの体験は、特に面白かったようです。自分のカメラで撮った動画を見せながら、いろいろ詳しく教えてくれました。作品の海老天はテーブルに置いていると、ついつつまみ食いをしたくなります。どの体験も面白く、しっかり楽しめてリフレッシュできたようです。日本にはまだまだ行ってみたい所、行ってみなくちゃいけない所がいっぱいあるねと話していました。春の良い季節にとってもよい経験をさせて頂きありがとうございました。

「都会のもやしっ子」代表のような息子なので遅く育って欲しいと思い参加しました。1日10kmを歩いた事もなかったので事前に10km歩く練習を3回程して距離の感覚をつけました。実際には10kgのリュックサックを背負って歩いたので、練習とは比べ物にならないくらいキツかったと思いますが、友達と一緒に歩く事で勇気づけられ歩ききる事が出来ました。1グループ8人に先生が一人、もしくは二人ついて下さって細かく気を配って頂きました。FBで一日の報告を拝見していたので安心感もありました。伝統工芸など数々の体験ももちろん貴重ですが、自分たちで考えて自由にご飯やお土産を買う事、グループで相談して夕食のメニューを決めたり歩く工程を決めたりする事も子供にとって自信がつく貴重な体験でした。帰ってきてから少しですが自分の意見をはっきり言えるようになって男らしくなったかな、と嬉しく思いました。

今回の旅のパンフレットを見た娘が目キラキラさせて「行きたい! 絶対行きたい!」と強く訴えてきました。以前、他事業に参加させていただいたので引率の方々に信頼していましたし、親としての不安は特になかったので、すぐに参加を決めました。解散場所の東京駅から自宅に着くまで、旅で体験した事、うれしかった事、面白かった事等、ずっと話していました。「つかじがね…」「ジャックがね…」など、リーダーの方々の話も良くしていたので、体験以外にもメンバーとの触れ合いもとても楽しかったのだなと感じました。5日間で本当に沢山の体験をさせていただきました。親と一緒に旅では味わえない思いも沢山出来たと思います。引率リーダーの方々には大変お世話になりました。皆さんが良くしてくださったおかげで、娘も楽しい5日間を過ごせました。ありがとうございました。

PS.ひで細工のコースターは、花びんの下にしいて使っています。

お手紙でこの旅のことを知った時は、ウチの息子には“まだ無理”と思いましたが、歩きお遍路や砂漠へ旅する父に話をしたところ、「絶対行くべき」と大絶賛! 今年のゴールデンウィークは10日間もあるし商売をしているので息子達の相手もままならないので参加を決めました。息子たちの反応が心配でしたが、昨年夏の朝霧キャンプが楽しかったので、すんなり参加が決まりました。4/29、熱海駅で送り出した後は、心配で心配で私は泣きながら帰りましたが、無事、東京駅でピックアップしていた

だけの連絡で安心し、朝、更新されるFBを楽しみに過ごしました。参加して帰ってきた息子は、少し日に焼け、荷物が重かったと、ちょっぴり男らしくなっていました。旅の間、何をしたのか？何をいくらで食べたのか？次から次に話してくれました。そして頑張った、頑張りがすぎたのか、1週間ほど、べったり甘えん坊に…。それもまた可愛かったです。次は朝霧（夏）、ヨロン島（春）参加したいです。大変お世話になりました。ありがとうございます。

疲れてハトハトになっているはずなのに、みやげ話がつきませんでした。とても楽しかった様子でした。生き生きとしていました。

旅から帰った息子は別人のように！？シッカリしていて、ビックリしました。いつもは無鉄砲で好き勝手、やりっぱなしなのですが、考えて動いている様子に驚きました。すごくしっかりしたなあと両親も感心していました。1週間程でいつもの無鉄砲さも出てきましたが、やっぱり少し違う。今回の旅で一人のメンバーとして、そして兄として頑張ってきたのを感じました。素晴らしい旅をありがとうございます。今後も挑戦していきますので、よろしくお願いします。

まず、日本海の海水を太平洋に流す、というのが『おもしろいな』と思いました。5年生になり社会科で県の事を学ぶので、とっかかりになればと考えました。うちの子は体育を喜んでするタイプではありませんが、工作したり初めての事にチャレンジする事は好きなので、文化遺産、伝統文化を学ぶ旅は親子共に心ひかれました。梨狩り体験で協会にはお世話になっていたのも、頑張らせるけど無理させすぎることはないだろうという安心感がありました。ただ荷物を持って10km歩くというのは「うちの子できるの？」ととても不安だったので、参加を決めてから4、5回、2～7km程、家族で徒歩練習して挑みました。出発した後は天気（雨模様）が心配すぎて何度も現地の天気を調べたり、FBに写った子どもの顔をアップにして（笑）疲れていないかチェックばかりしていました。最終日、「ただいま～！」と元気に帰ってきた子どもの姿を目にすると本当に感動しました。たとえ運動会でかけっこが遅くても「この子には頑張る力がある」と心から信じられます。（笑）最後にこのようなイベントを企画し、実行するのは本当に大変だろうな、有難いなと思います。高田さんはじめリーダーの皆さん、心から感謝しています。親では与えられない貴重な体験をさせて頂き、子どもが一つ、いや三つ、四つ大きく成長しました。子どもの人生の糧となる良い体験でした。ありがとうございました。下の兄弟でもまたお世話になりたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。

本人が“野宿”という一言に特に興味を持ち、是非、参加したいというので参加を決めました。色々な不安を持ち出発し、不安を持ち見送った私達親子でしたが、空港の到着出口で元気な子の姿を見て、子どもの行ってみたいという気持ちを実現させてあげる事が出来、ほっとしたというのが正直なところです。いろいろな方々のお世話によって旅を送れた事も子どもながらに少しは気づいているのでは…といった様子です。子どもの参加してみたいという気持ちから出発し、色々な準備、体調管理、少しの不安や期待感、疲労感や充実感など、ただの一つも無駄なく子どものこれからの人生の大切な財産となっていくのだな思っております。本当にスタッフの方々のご苦労に感謝しております。ありがとうございました。

本人にもゆかりのある富山県の合掌造りを実際に自分の目で見てほしくて参加させました。普段、車や電車での移動ばかりで歩くことが少ないため、皆についていけるのか心配しましたが、とても楽しめたようで帰ってきて一回りも二回りも成長したように感じられました。ありがとうございました。

昨年の夏、キャンプに参加したのですが、その時は2歳上の兄もいたので、一人で参加するのは今回が初めて。親は心配ばかりでしたが、本人は、「やっと一人で行けるよ～」と、とても楽しみにしていました。野宿っていうと、辛い大変なイメージを持ちますが、子どもは、どんな事するんだろう？と

ワクワクしていたようです。寝袋もお借り出来たととても助かりました。家族旅行では味わえないような事がたくさんできました。親に頼らず少しだけ自立できたと思います。悪天候の中、ありがとうございました。

小5の一人息子が小1の頃から市などの「子どもキャンプ」に本人の希望も聞かず参加させていました。本人は「行かされてる」という感覚で毎回、不安そうに出かけるけど、帰りは笑顔で「また行きたい!」と言うので、もっと長く遠くへ行かせて、新しい経験や友達作りをして欲しいと思っていました。そんな時「ヨロン島の旅」を知り、資料を取り寄せすめたけれど「…行きたくない。どうしても言うならこっちの“野宿の旅”なら行ってもいいよ」と同封のチラシを指さしました。「毎日歩いて野宿って楽しそう。文化体験もたくさんできるし!」との事で、せっかく乗り気になってくれたからとすぐに応募しました。出発当日、なんとなく不安そうな表情で一人、新幹線に乗り込みました。席に着いたかと思うと、ホームの私の所へかけ寄り、抱きついてきました。目には大粒の涙で「行きたくないけど行かないとね」と言って車内へ戻っていきました。席へ着いても涙が止まらず、そんな我が子の姿を見たら「ここまでして行かせるのは親のワガママ以外の何でもないのかなぁ」と胸が痛くなりました。その後の旅行中は、夜中に更新されるFBで我が子の表情を気にばかりしていました。でも仲間と楽しそうに頑張っている様子がよくわかり、だんだん安心できました。そして帰りの新幹線ホームで出迎えると予想以上の笑顔で我が子が下りてきました。仲良くなった友達も下りてきて挨拶をしてくれました。たった6日間の旅が我が子を逞しく、りりしく、大きく成長させてくれたことに感激しました。「もう一泊したかった!次も行く!」とのことで、行きのあの涙はどこえやら…。「あの時、新幹線に乗らなかつたら、こんな素晴らしい経験はできなかったね。勇気を出してよかったね」と家族で話しています。もちろん本人の気持ちが最優先だと、今回改めて考えさせられたけど、「やる前からあきらめちゃうと、もったいないことも多いよ!」ってこの先も我が子に伝えていこうと思っています。最後に素晴らしいサポートをしてくださったスタッフの皆様、一緒に旅してくれた全国のお友達（ヨロン島旅の楽しさも話してくれたそうでありがとう!）、本当にありがとうございました。また次回会えることを楽しみにしています!!

自分の足で一歩ずつ目的を持って進み、一人ではなくチームで協力してゴールを目指す体験は、この企画ならではのと思っています。また、和菓子作りやその地域ならではの人の温もりを感じて、最後までやり遂げた達成感、人間としての成長を助けてくれたのではないかと思います。今すぐに成果はなくても 生活の中で充実した日々を送れることを願っています。同世代の子供達や、生活環境の違う人との交流は その違いが豊かな人生の一部になるという事を受け入れ、またさらに本当のやさしさに気づいてもらえたらと思って参加させています。スタッフの方々の温かい支援と、安全なプランに参加しているのも感謝して帰ってくる娘の言葉より感じています。楽しい旅をありがとうございました。